

『天狗さまの太鼓』

今から七十年ほど前のことです。飯川の村のどこかから、毎日のように太鼓の音が聞こえてきました。その音は、外に仕事をしていても聞こえる、道を歩いても聞こえる、家の中にも聞こえるといった具合で、なかなか大きな音でした。



太鼓の音を聞いた村の人たちは、確かめるために、その音のする方に向かって行きました。すると、それは大櫓の上から聞こえてくるのでした。ところが、不思議なことに、村の人たちが大櫓に近づくと、その音は、ずっと遠くから聞こえてくるように思われるのでした。

「大櫓には、昔から、天狗さまが住んでいるという。これは、天狗さまの太鼓の音に違いない」

「天狗さまが、太鼓をたたく時は、何かよくないことがあるに違いない。」
とって、村の人たちはたいへん気がかりでした。その時、大櫓のまわりが、雑草や折れた木の枝でひどく汚れていることに、村の人たちが気づきました。

「これは、きっと大櫓のまわりが汚れているので、天狗さまがおこっただけになるのだ。」

という者もあって、村の人たちは、みんなで大櫓のまわりをきれいに掃除しました。そして、その後、お祓いの式をおこないました。それ以後、太鼓の音は聞こえなかったといいます。

(飯川町 伝承 守沢政治 集録)